

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

三次市教育委員会

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「語彙を豊かに」では、教材の言葉をきっかけに、多様な観点から語彙力を高める工夫が見られる。</li> <li>○ 中学校で身に付けたい読みの方略について、3年間で22種類のコラム「読み方を学ぼう」を設けて示している。</li> <li>○ 見開き2ページで学習過程「学びの道しるべ」を示し、単元の流れを明確にすることで、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫が見られる。</li> <li>○ グラフや図表などの情報と、文章とを関連づけながら、自分の考えを深める単元が各学年に設けられている。</li> <li>○ 説明文教材の前に、「読み方を学ぼう」を折込形式で配置し、説明文の基本構造を分かりやすく提示している。</li> <li>○ 巻末資料「思考の方法一覧」では、三年間で取り上げられる様々な思考方法が分かりやすく整理されている。</li> </ul>
書 写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆練習帳「書写ブック」が新設されており、硬筆を指導しやすい。また、書き込み欄が豊富であり、繰り返しの学習が多くできる。</li> <li>○ 半紙原寸大となる見開き2ページで手本を示しており、大きく分かりやすい教材文字となっている。</li> <li>○ 学習の進め方を全単元で「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」で示しており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。</li> <li>○ 全ての文字についてQRコードが付いており、筆使いなどの動画を最も多く示している。</li> <li>○ 日常生活に役立つ書式も充実している。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
社 会 (地理的分野)	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の学習内容を説明しているコーナーを設けたり、本文に丸数字を付け、脚注で本文の補足説明をしたりしている。また、単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けており、「ステップ」の順に取り組むことで、生徒が発展的課題を行い易くしてある。</li> <li>○ 各章のまとめの「発展」で考えたことを、具体的に課題として取り上げ、その解決策を考え、発信する構成となっており、分かりやすく手順を示してある。</li> <li>○ ページ下にガイドが設けられている。課題とまとめの活動の一貫性が示してあり、導入では、絵を見ることで、課題を確認することができるので、生徒が取り組みやすいと考えられる。</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮として、ページ隅の色分けと、見開き右側のインデックスで、学習内容を示している。</li> <li>○ 小單元ごとの問いについて、『「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しよう。』という活動が設定されている。スモール・ステップで取り組み、生徒が考えをまとめやすい工夫がされている。</li> </ul>
社 会 (歴史的分野)	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数が一番多く掲載されており、どの時代についても網羅している。内容は身近なものが多く、生徒の興味を引きやすい。</li> <li>○ 各単元の導入において、イラストでその時代の様子を見るページがどの時代についても設定されており、それを比較することで、変化を視覚的に捉えやすくなっている。</li> <li>○ ページの隅の色分けと、見開き右側の年表の2つの示し方で学習内容を示しており、生徒が使いやすい。</li> <li>○ 自分が重視した歴史的な見方・考え方を明らかにして文章にまとめることができるよう、「ステップ」という細かい問いが用意され、スモール・ステップで取り組み、最終的に自分の考えをまとめることができるようになっている。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
社 会 (公民的分野)	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習の前に」として「身の回りの暮らしと経済について見てみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各問いには関連する本文のページ数を示している。</li> <li>○ 「小学校との関連」として、単元の学習内容と関連する小学校での既習内容を示している。イラストの比較をすることで、学習課題を捉えやすくしている。学力的に厳しい生徒も、興味をもって取り組むことができる。</li> <li>○ ページ隅の色分けと、見開き右側のインデックスで、学習内容を示しており、図版のタイトルの先頭に、矢印を付している。</li> <li>○ 目的に応じて適切に表現する力を育てるために、スモール・ステップで取り組みながら、思考力・判断力・表現力を働かせ、生徒が考えをまとめやすい工夫がされている。</li> </ul>
地 図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に地図記号や小学校で学習した地図の約束、地図活用について記載している。小学校との繋がりがあるのが特徴的である。</li> <li>○ 観光・スポーツに関する統計が掲載されている。</li> <li>○ 歴史的事象が記載された地図で広島に関するものとしては、「広島市中心部」「広島市付近にある水害の碑の分布」が掲載されている。</li> <li>○ 資料図のページで取り扱ったテーマに関して、図を見るときに着目する点や考える問いを「学習課題」として示している。</li> <li>○ 資料の種類が多く、大きく見やすい。</li> <li>○ A4判で大きく、国名等フォントのサイズが大きく見やすい。</li> <li>○ 地図活用技能を身に付けるための問いとして「地図活用」のマークを記載している。</li> <li>○ 資料図のページで扱ったテーマに対して、図を見るときに着目する視点を示すため「学習課題」を設定している。</li> <li>○ 世界と日本の統計資料において、上位5位までのデータが赤字で表されている。</li> <li>○ 二次元コードの活用例を記載している。</li> <li>○ 地図を活用した表現として、「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを107か所設け記載している。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
数 学	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 興味・関心を高める工夫として、日常的な内容を扱い、考えさせる単元が多く設定されている。</li> <li>○ 第2学年「データを比較して判断しよう」の学習において、1つの題材で単元を通して学習させ、単元末で当事者となって考えさせる問いが設定されている。</li> <li>○ 作図ソフト Geo Gebra を使った円の性質の探究を行う題材を取り入れている。</li> <li>○ 数学マイノートとして、板書だけでなく友だちの考えと関連付けて書くように示している。</li> <li>○ 説明の部分がしっかり焦点化されており、数学的な表現を用いた説明と、「話し合う」については、いろいろな意見が出やすいような問い方をしている。</li> </ul>
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補充的な問題として、巻末には「中学校総合問題」が設定しており、問題も充実している。</li> <li>○ 実験における安全確保に関わる注意が、マーク等を使用して視覚的に工夫されており、何を注意すればよいのかが一目でわかるようになっている。</li> <li>○ コラムの名称が、「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」などのように内容がわかりやすく、日常生活とつながりのある内容が多くある。</li> <li>○ 生徒に仮説や予想を持たせるための学習活動として「話し合ってみよう」「考えてみよう」が設定されている。</li> <li>○ 単元の配列が、1分野と2分野にまとめられており、指導しやすい。</li> <li>○ 補充的な観察・実験の数において、領域・学年のバランスが最も良く、数も適切である。</li> <li>○ 高等学校の学習へのつながりとなる、生徒にとって難しい原子構造の説明をていねいに分かりやすく解説してある。</li> <li>○ 「サイエンス資料」の中で「理科における話し合いと発表」において、4つの手順でわかりやすく説明してある。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
音 楽 (一般)	教育 芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各ページQRコードがあり，指揮などの関連の動画を見ることができる。</li> <li>○ 「発声」「リズムで楽しもう」「指揮」「特集」「資料」そして、「心の歌」を示し，すっきりとした目次となっている。</li> <li>○ 「歌唱」，「創作」，「鑑賞」の3領域と「知識」，「技能」，「思考力・判断力・表現力」の観点の関係がすっきりと表され，曲目もわかりやすく配列されている。</li> <li>○ 発声について，イラストを使い発達段階に応じたポイントが示され，声の出る仕組みについて解説があり，生徒の興味・関心を引く内容になっている。</li> <li>○ 和音を使って旋律を作る創作に関するページで，課題を1つずつクリアしていくことで，旋律を完成させることができるよう工夫されている。</li> <li>○ パートごとの特徴，自分の意見を書き，友だちと意見交流することで話し合いを深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 各地の民謡と，どの種類の歌になるのか地図を見ただけで分かるように工夫がされている。</li> <li>○ 「歌唱」に重点が置かれている。</li> </ul>
音 楽 (器楽合奏)	教育 芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容のページが示され，技能等の3観点と，器楽・創作の関係を示し，楽曲ごとに分類されている。</li> <li>○ 箏について，姿勢と構え方，指の向きに加え，礼儀についても掲載されており，我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点からも工夫がみられる。</li> <li>○ ポピュラー音楽について多く準備されている。</li> <li>○ マークで音楽を形作っている要素が示してあり，見ただけでわかるようにされている。</li> <li>○ 専門用語「アーティキュレーション」という言葉を用いて，言語活動を進めるようにしている。</li> <li>○ 奏法の違いを目と耳でインプットし，その違いを言葉で表現しあえるよう工夫されている。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
美 術	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材の目標を、「鑑賞」と「表現」のアイコンをつけて示し、その文章表現が、言語活動等を通して生徒の主体的な活動や思考の深化を促すものとなっている。</li> <li>○ タイトルの記述が、素材を生かした作品のイメージを膨らませることができるものとなっている。</li> <li>○ 和紙を使用したり、見開きを使用したりして、生徒が興味・関心を持って学習する工夫が見られる。</li> <li>○ 美術の学びと生活や社会とのつながりについて、「デザインってなんだろう？」の特設ページを設け、一日の流れに沿った生活の中の美術との関わりを具体的に示している。</li> <li>○ 学習内容の関連を図ったり比較させたりする題材の配列となっており、生徒の思考を深める示し方になっている。</li> <li>○ QRコードを読み取ると、作品の解説がBGMとともに動画で示され、鑑賞の視点やグループ協議の視点もその中で示されるので、授業で活用しやすい。</li> <li>○ 対話を通した言語活動が深まるような工夫として、生徒に「発想や構想」の広がりを持たせるような投げかけとなっている。</li> <li>○ 新学習指導要領で求められている生徒の主体的な学びを促すことに重点を置き、様々な学習場面で教科書の仕掛けを有効に活用して生徒が自分で学びを進めていくことができる。</li> </ul>
保健体育	学研教育 みらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題をつかもう」「考える・調べる」「まとめる・深める」で1時間の流れが明確に示されている。</li> <li>○ 興味・関心を高める工夫として、がんについてイラスト等で理解しやすくしてあり、がんの進行と早期発見・早期治療についてわかりやすく資料で扱っている。</li> <li>○ 文章中に出てくる理解しにくい用語について補足説明が文の横に記載されている。</li> <li>○ 課題をつかむ設定が、身近で興味を引き、さらに、「考える・調べる」では、内容をより深く学習ができる。</li> <li>○ 「まとめる・深める」「探究しよう」は、発展的な内容の学習を通して、学びを振り返り「深い学び」として活用しやすい。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂 出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「動作のポイント」のマークが示されている。</li> <li>○ 全体的に、説明が丁寧で、細かい内容まで触れている。資料も豊富に掲載されている。</li> <li>○ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、各分野が系統的・発展的に構成されている。分量や配分も、授業時数や多様な指導計画に対応できるようになっている。</li> <li>○ 技術分野全体の学習の流れを見開き2ページに示し、漫画を交えながら説明している。</li> <li>○ 他教科に関連するものは「他教科」、小学校に関連するものは「小学校」、他の内容と関連するものは「リンク」という3種類のマークで統一され、分かりやすくシンプルに示されている。</li> <li>○ 用紙の品質が良く、重さも軽い。実際に作業する際に利用しやすい。</li> <li>○ デジタルコンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができる。「QR」マークでQRコードを56か所設けている。</li> </ul>
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂 出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルコンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができる。「QR」マークでQRコードを64か所設けている。</li> <li>○ 各章末の「生活にいかそう」では、学習のまとめりごとに、実生活に即して、学習をまとめる課題が設けられている。</li> <li>○ 「生活の課題と実践」において、課題発見・解決学習の進め方の説明が充実している。また、まとめを発表した後、対話を位置付けている。</li> <li>○ 小学校家庭科との関連について「小学校での学び」として文章で記述しており、分かりやすい。</li> <li>○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一しており、分かりやすい。また、初出箇所の漢字にふり仮名を付すなど、必要最小限の支援としている点もユニバーサルデザインとなっている。</li> <li>○ アレルギー物質を含む食材を表記しており、アレルギーをもつ生徒への配慮が可能となっている。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
英 語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の始めに示された目標に対して，単元末に同じ文言で再掲する一貫性がある。</li> <li>○ 単元でできるようになったことを，さらに高めるための関連ページを，巻末のCan-Doリストに示しており，主体的に学習に取り組むことができる。</li> <li>○ 小学校外国語科との接続として，小学校で体験した言語活動を取り上げたり，フォニックスの基本ルールを振り返ったりする等，小学校の復習ページ数が最も多く，学習者の負担と小中の段差を小さくしようとする意図を見取ることができる。</li> <li>○ 「帯教材」として，各単元の内容について，イラストをもとに英語で他者に伝えるための資料や，“Let’s Talk”という即興での会話のためのヒント集があり，「話すこと」の言語活動に年間を通して取り組むための工夫が見られる。</li> <li>○ 学習到達目標を，第1学年からの学年ごとの目標が分かるように提示している。また4段階で自己評価できる工夫もある。技能を統合した各学年の目標を示しているのも特徴的である。</li> <li>○ 即興で会話をする力を伸ばすための帯教材“Let’s Talk”の中に，自分の考えや気持ちなどを伝え合うための質問を多く示すなどの工夫が見られ，対話的な学びを促している。</li> <li>○ 各単元の終わりに Goal と題し，技能・領域統合的な活動があり，詳細な手順と多くの表現例を示し，考えや気持ちを伝え合うことが促されている。</li> </ul>
特別の教科 道徳	日本文教 出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決的な学習に適した教材は目次・該当ページにマークで示し，教材文の終わりの「学習の進め方」において，問題を解決するための「学習の進め方」を端的に示している。</li> <li>○ 授業終末において，授業で学んだことを，前向きに自分に生かすための発問例「自分に+1（プラスワン）」が設けてある。</li> <li>○ 体験的な学習に適した教材をマークで示し，1時間で無理なく実施できる体験的な活動を精選している。</li> <li>○ いじめを直接的・間接的に扱った教材とコラム「プラットホーム」をユニット化し，年間で複数配置している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」には，自分が考えたことや友達の意見等を書いて整理することができる。以前は中心発問が印刷されていたが，発問を生徒が書き込むことができる様式に変更され，生徒実態に応じて発問の工夫ができる。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」に，毎時の振り返りとして○印を付ける欄がある。</li> </ul>



